

コリント人への手紙第一 第6章 19節

「あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。」

あなたがたのからだは当然ながらあなたがたのからだのひとつである。そのからだに賜物として受けた聖霊が住むところとなる。聖霊なる神があなたのかからだを宮として住むのである。限りある存在のうちに限りなきお方が住んでくださるのである。人には不可能なことを神が可能としてくださるのである。かつて神を拒否し、あたかも無きもののように振る舞い続けた者である。その罪人のうちに十字架の犠牲をはらい赦し、救い、救われ死し人に飛び込んでくださった。

それほどまでに私たちを、私を愛してくださる。犠牲をはらい私たちに、私に飛び込んでくださり聖霊の宮とされる。神の宮として魂に入り込んでくださる。もはや自分のからだ自分だけのものではなく、そうではなく、犠牲をはらい自分のうちに食い込んでくださった愛なる神、聖霊の宮となった。

日々の歩みの根幹は自分にあるのではなく、自分のうちに住まわれる聖霊にある。自分を新しくしてくださった十字架の恵みで、自分を新しくしてくださる御霊のちからで日々新たにされる。

2023年5月26日